



【文芸】  
**アタリ**  
 夏月号 | No. 00014  
 平成26年06月21日(土)  
 発行 書肆べう  
 ながしろぼんり

モグモグパクパク。

**さ** ういふ名前の競走馬がい  
 るんだよ。ホントだよ！

ちよっと調べてみると6月8  
 日に由比ヶ浜特別で優勝して  
 る。武豊が乗ってる。同じオ  
 ーナーの命名に「モチ」だの  
 「フクラムサイフ」だのあつ  
 て面白いんですが、検索した  
 ネタだけで埋めていくのもア  
 レなので各自お楽しみあれ。

野菜チップス地獄篇。

**野** 菜チップスをもらいまし  
 た。「まづいから」という  
 のでもらったんですが、一口  
 食うと広がる青海苔臭。野菜  
 チップス青海苔臭。根菜チッ  
 プス青海苔臭。大人しく咀嚼  
 していると油の風味だとわか  
 ります。パーム油というかコ  
 コナツ油というか。こういう

手合いのものがいろいろの食  
 材を経て青海苔臭として後味  
 に残る。大手小売会社の製品  
 ですが、こんなの出してイン  
 カ帝国。だが、食べます。腹  
 を壊しても喰い物は残すなど  
 親に教えられて育ちました。  
 そんなこと教えてねえ、つて

**後** この前云われたけど。莫迦！  
 味、というかこの風味だ  
 け何かで相殺できれば食  
 えるんです。とすると、カレ

ーか、ものすごく味の濃い何  
 かか。というわけでまず  
 はカレーなわけです。玉  
 ねぎを切って炒め、鶏肉に  
 火を通し、野菜チップスを適  
 当に砕いて入れる。全体的に  
 火が通ったら水を入れて煮る。

**す** 浮ってえと油が浮く浮く  
 るんだもの。灰汁と一緒に  
 に取ってから保温鍋で一  
 時間。カレールーを入れて  
 煮込むこと十五分。出来まし

た。不味くはな、くなくない。  
**美** 味い不味いで話をす  
 るからややこしい  
 ンであってです、その、

野菜が甘い。玉ねぎを長時間  
 炒めて作った無水カレーなん  
 かはこういう甘さになると思  
 うんだけど、おつ、カレ  
 ーじゃん、という安心を打ち  
 破る青海苔臭。これ、なんだ  
 ろうね。単に野菜を薄く切つ  
 て素揚げしているだけのシロ  
 モノじゃないんだらうか。

**独** りでほとんど食べました。  
 家の者もいくらか食べて  
 いたものの、無理して食べる  
 もんぢやないン。そんなこと

もうやらない。

云われんでも解つとるわい。  
**残** りの根菜チップスは茹で  
 て2回ほど油を抜き、鶏  
 肉を入れ、大量の砂糖と醤油  
 で煮ました。これなら多少の  
 風味があってもウウやっぱり  
 青海苔が強い。なんだこの油  
 鶏肉の部分だけおいしい！

**な** っ込みました。食い物を  
 粗末にしなかつたという満足  
 感だけでここまでやってきた。

もうやらない。



べう式「アタリ」は、  
 書肆べうの発行する冗句と与太話のフ  
 リーパーです。出来れば各自でPDF  
 をダウンロードし、プリンターなどを駆  
 使してお楽しみください。A4版です。  
 御連絡はbanric@gmail.com (ながしろ) まで。  
 Website : <http://sbew.web.fc2.com/atari/>

驚いた??  
 太郎君の出世!!  
 今時の弘法大師! 贅言  
 秘密の法と、催眠術

第17回 子供博覧会  
 三月廿五日  
 五月五日  
 三月廿五日  
 五月五日  
  
 店服呉哉三

たぶアリエル  
 魚姫ちゃん奏風朝ちゃん  
 話し合いたいことがあります  
 人連絡待つ 雑詭限 両親

## 本買道。

# 古

本屋研究会というのが日  
本大学藝術学部というところ  
にあってな。アタシの師  
である多岐祐介（文藝批評）  
が顧問を務めておる都合でた  
まに同行しておる。ナニ、ア  
タシが学生のころには無かつ  
た集まりでして、その代わり  
に「古本屋の歩き方」的なも  
のをついぶん教わったもので  
す。で、そういうのが気づい  
たらサークル化しておった。  
中央線沿線とか、谷根千とか、  
池袋とか、主にその辺の  
古本屋を集団で  
ウロウロする  
集まりで



ある。TwitterだのFacebookだ  
ので告知しており、その気にな  
れば一般の人が参加しても  
良い、となっておる。興味の  
向きは是非是非。ただ、三鷹  
—吉祥寺間で古本屋寄りつつ  
15キロ歩くからな。

# 基

本題。一月に買う本を一万  
円以内に減らしたい、と  
本題。一月に買う本を一万  
円以内に減らしたい、と

# 本

本題。一月に買う本を一万  
円以内に減らしたい、と

という野望が（野望か！）ある  
とすると、まず行くのは古本  
屋ではなく図書館。云ってしま  
えれば、たぶん世の中にある  
本のうちの95%は一回読めば  
もういい本、なのです。これ  
をAとする。

# 図

図書館に入らない本、とい  
うのが必ずあって、これ  
を古本屋で見つけたら買う。  
これ、B。逆に、古本で見つ  
けても図書館にありそうなも  
のは買わない。これ、C。古  
本屋をめぐる大体の流れが  
わかってきて、新刊から一か  
月我慢すると古本屋に流れて  
くるもの、これD。半年待つ  
てでも安く買いたいもの、  
これがE。古本屋で出ても  
「まもなくもつと下がるよね」  
というもの、これ、F。

# で

心情的に「この人に印  
税を払いたい」という作  
家や出版社というのは必ずあ  
って、そういう場合は新刊で  
買います。ニッパンヤトーハ  
ンを挟むといくらか抜かれる  
ので、出来るだけ直接通販し  
ます。とはいえど、町の本屋

がなくなっても困るので、も  
ちろん本屋で買うことにや抵  
抗はありません。これ、G。

# ま

がりなりにも出版に  
いるのか！ というお叱りもあ  
るかもわかりませんが、でも  
結局、金を払う側からすると  
たぶんこの位の流れ図はある  
と思うのです。で、この三丈  
ライター、儉約を旨としてど  
うにか生き長らえている有様  
で……と言いつつがましくなっ  
ても詮無いこつてすが、逆に  
本を買う側がこういう意識の  
流れで本を買おうとしている、  
という前提で本を作る必要性  
もあるんじゃないかな、と思  
うのです。この辺も少し自己  
弁護的ですが、じゃあ、Gの  
ような本の著者になろうぜ、  
というのはモノカキみんな思  
ってんじゃないかしらん。

# 売

れるでもなく、売れぬで  
もなく、でも、この作家  
殺しちゃうと世の中つまんな  
くなるよ、と、そういう人々  
をアタシやあ愛していきたい。  
あ、ちよつといいメになった。

バックナンバーはこちら

弊紙「アタリ」のバックナン  
バーはウェブサイトで

<http://shew.web.fc2.com/atari/>  
からご覧いただけます。

忘れてたわけではないが

本業のほうで忙しくなつたと  
思いねえ。でもなんとか月一は  
出します。長くやっているとい  
うことに生まれる価値もある。  
ホント。あたしや文藝サイト十  
年やってたら結婚できたんだし。

## 野菜チップス

表面の記事の事象があつたこ  
ろに、ちよつと大手スーパー同  
士の「生産地不記載」という罵  
り合いみたいなのがあつたの  
である。野菜チップスはその店  
が難癖付けた側と云うか7の字  
のつく側の製品だったんだけれ  
ども、よく見ると野菜は中国製  
と書いてある。野菜はともあれ  
油の悪いのには納得がいった次  
第。でも、ああいう食い物でも  
売れる、つて位に全体的な味覚  
の質が変わってきてるのかもな。  
といった感じで、おほり。